

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

第3044059号

(45) 発行日 平成9年(1997)12月12日

(24) 登録日 平成9年(1997)9月24日

(51) Int.Cl. ⁶	識別記号	序内整理番号	F I	技術表示箇所
A 47 C 13/00 7/62 19/00			A 47 C 13/00 7/62 19/00	C B C
E 04 F 15/02	102	9232-2E 9232-2E	E 04 F 15/02	102 J 102 M

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 FD (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願平9-5309

(22) 出願日 平成9年(1997)6月4日

(73) 実用新案権者 597087550

株式会社 イシオカ

広島県府中市本山町530番地の86

(72) 考案者 石岡 実也

広島県府中市本山町530番地の86 株式会
社 イシオカ内

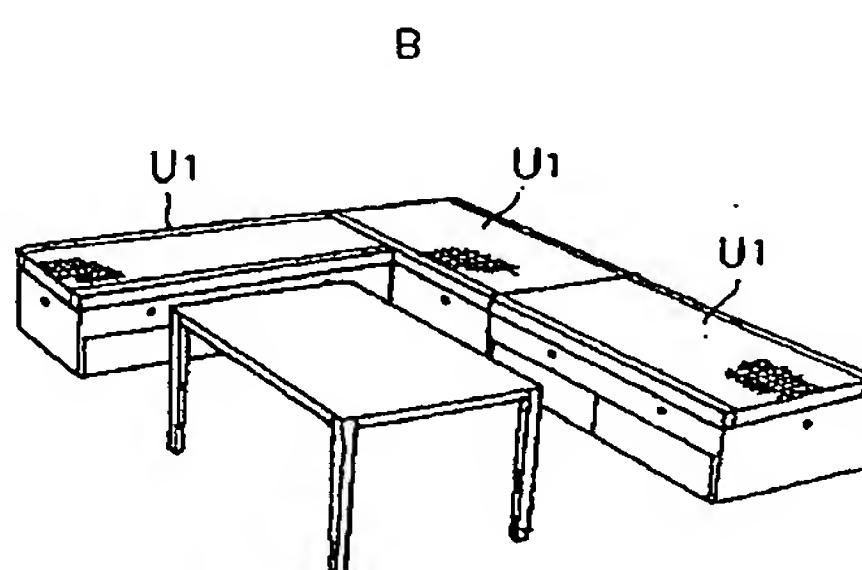
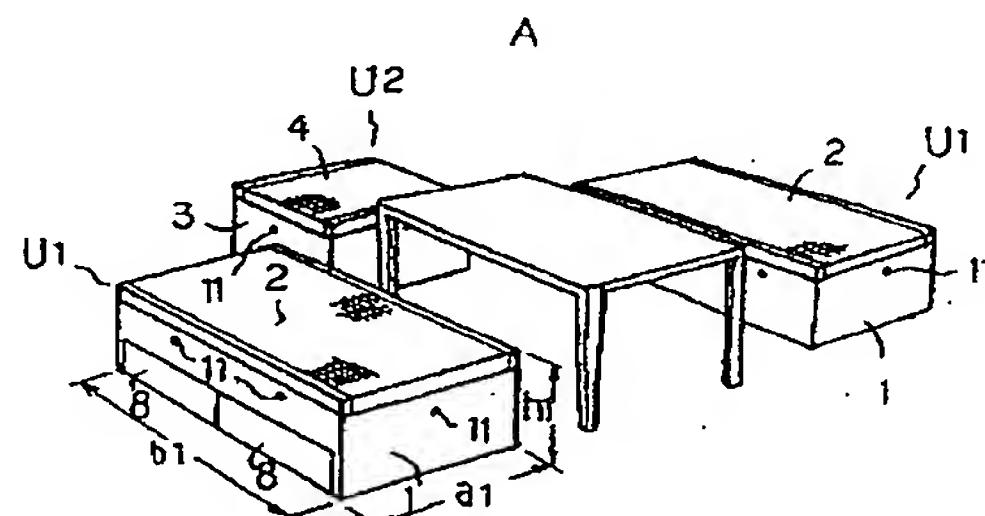
(74) 代理人 弁理士 桑熊 弘穂

(54) 【考案の名称】 台箱付ユニット畳の組合せ品

(57) 【要約】

【課題】 実際の畳床付き畳を使用して洋間を隨時必要
大きさの和風間にアレンジできるようになすほか、収納
場所が効率的に形成されるものとする。

【解決手段】 大きさが縦a1凡そ1000~1500
mm、横b1凡そ500~700mm、高さh1凡そ2
50~350mmで、長方形状となした台箱1と該台箱
の上面開口に台箱の平面視大きさに合致させた畳床付き
畳2を取り外し可能に係着載置してなる同一大きさの台
箱付ユニット畳U1を複数作成し、各台箱を直列、並
列、方形状などに適宜組合せ、接合面をなす各側面間を
結合手段m、nで取り付け取り外し可能に止着させるも
のとなる。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 大きさが縦凡そ1000~1500m
m、横凡そ500~700mm、高さ凡そ250~350mmで、長方形形状となした台箱と該台箱の上面開口に台箱の平面視大きさに合致させた畳床付き畳を取り外し可能に係着載置してなる同一大きさの台箱付ユニット畳を複数作成し、各台箱を直列、並列、方形状などに適宜組合せ、接合面をなす各側面間を結合手段で取り付け取り外し可能に止着させたことを特徴とする台箱付ユニット畳の組合せ品。

【請求項2】 大きさが縦凡そ1000~1500m
m、横凡そ500~700mm、高さ凡そ250~350mmで、長方形形状となした台箱と該台箱の上面開口に台箱の平面視大きさに合致させた畳床付き畳を取り外し可能に係着載置した長方形台箱付ユニット畳と、上記長方形台箱付ユニット畳の縦寸法をその横寸法と同一とした方形台箱付ユニット畳とを適當数作成し、これらを直列、並列、方形状などに適宜組合せ、接合面をなす各側面間を結合手段で取り付け取り外し可能に止着したことを特徴とする台箱付ユニット畳の組合せ品。

【請求項3】 結合手段が各台箱の側面の対応個所に設けられた透孔と、該透孔を挿通させたボルト及び締付ナットであることを特徴とする請求項1又は2記載の台箱付ユニット畳の組合せ品。

【請求項4】 台箱付ユニット畳が、箱体の四周囲の側面の内方に横桟を固定すると共に、箱体内の横桟上に箱体の上面開口を覆うものとした方形状の支持板を載置し、この支持板上に畳床付き畳を載置し且つ、この畳と支持板の横ずれを突起又は当板などの係止手段で係止した構成であることを特徴とする請求項1、2又は3記載の台箱付ユニット畳の組合せ品。

【請求項5】 台箱に引き出しを設けたことを特徴とす

2

る請求項1、2、3又は4記載の台箱付ユニット畳の組合せ品。

【図面の簡単な説明】

【図1】本考案に係る長方形台箱付ユニット畳を示し、Aはユニット畳の側面図、Bは台箱の平面図、そしてCは台箱の側面図である。

【図2】前記長方形台箱付ユニット畳を示し、Aは台箱の斜視図、Bは引き出しの設けられた台箱の斜視図である。

10 【図3】本考案に係る方形台箱付ユニット畳を示し、Aは台箱の平面図、Bはユニット畳の側面図、そしてCは台箱の側面図である。

【図4】本考案品を畳ベッドとして使用する場合の使用形態を示す図である。

【図5】本考案品を畳床面として使用する場合の使用形態を示す図である。

【図6】本考案品の使用形態を示し、Aは畳応接セットとして使用する場合の図、Bは畳コーナーチェアとして使用する場合の図である。

【符号の説明】

U1 長方形台箱付ユニット畳

U2 方形台箱付ユニット畳

a1、a2 縦

b1、b2 横

h1、h2 高さ

1、3 台箱

2 ユニット畳

5 横桟

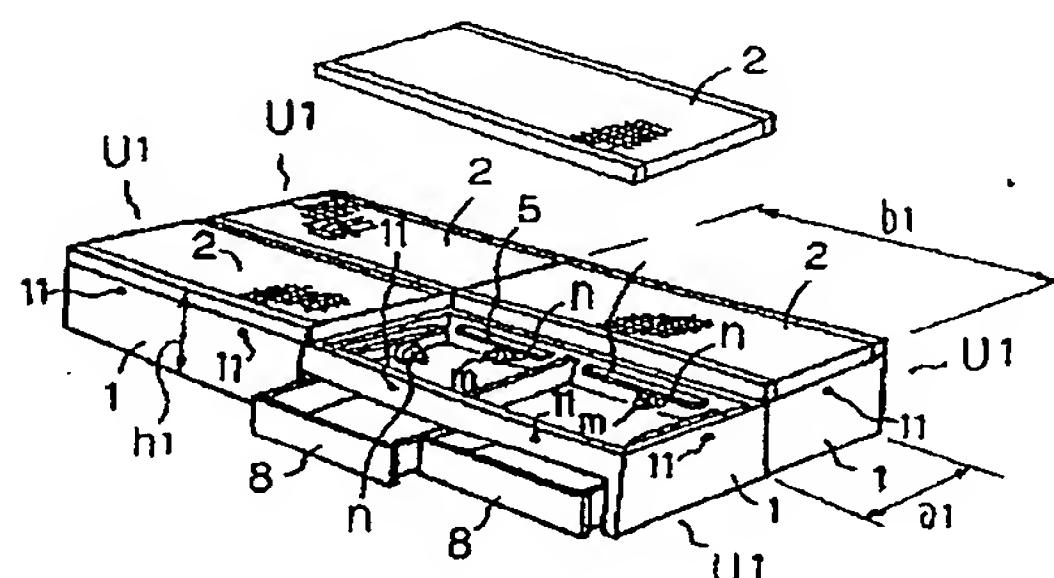
7 支持板

8 引き出し

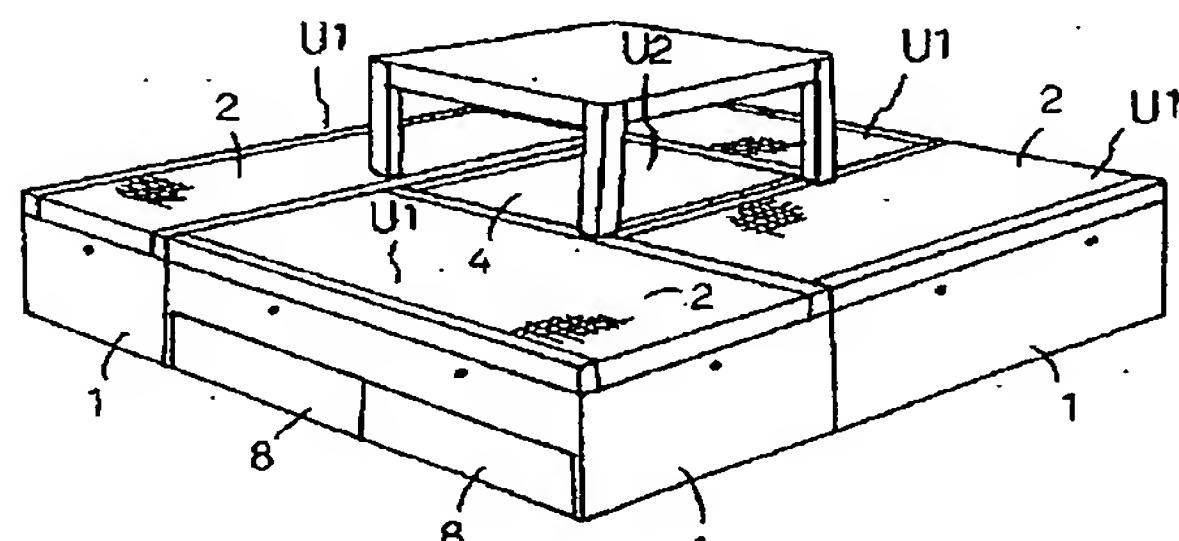
10 係止突起（係止手段）

11 透孔（結合手段）

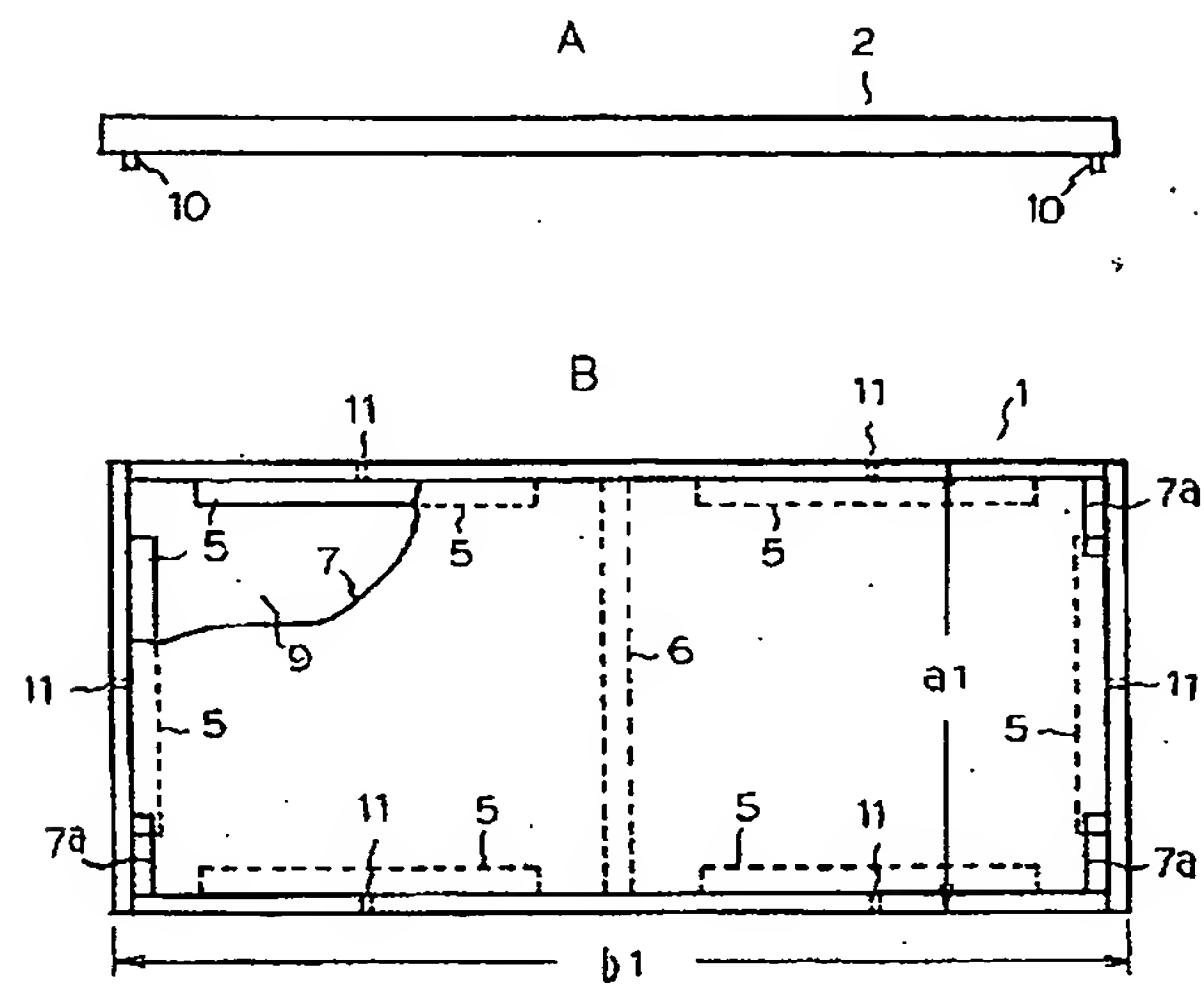
【図4】



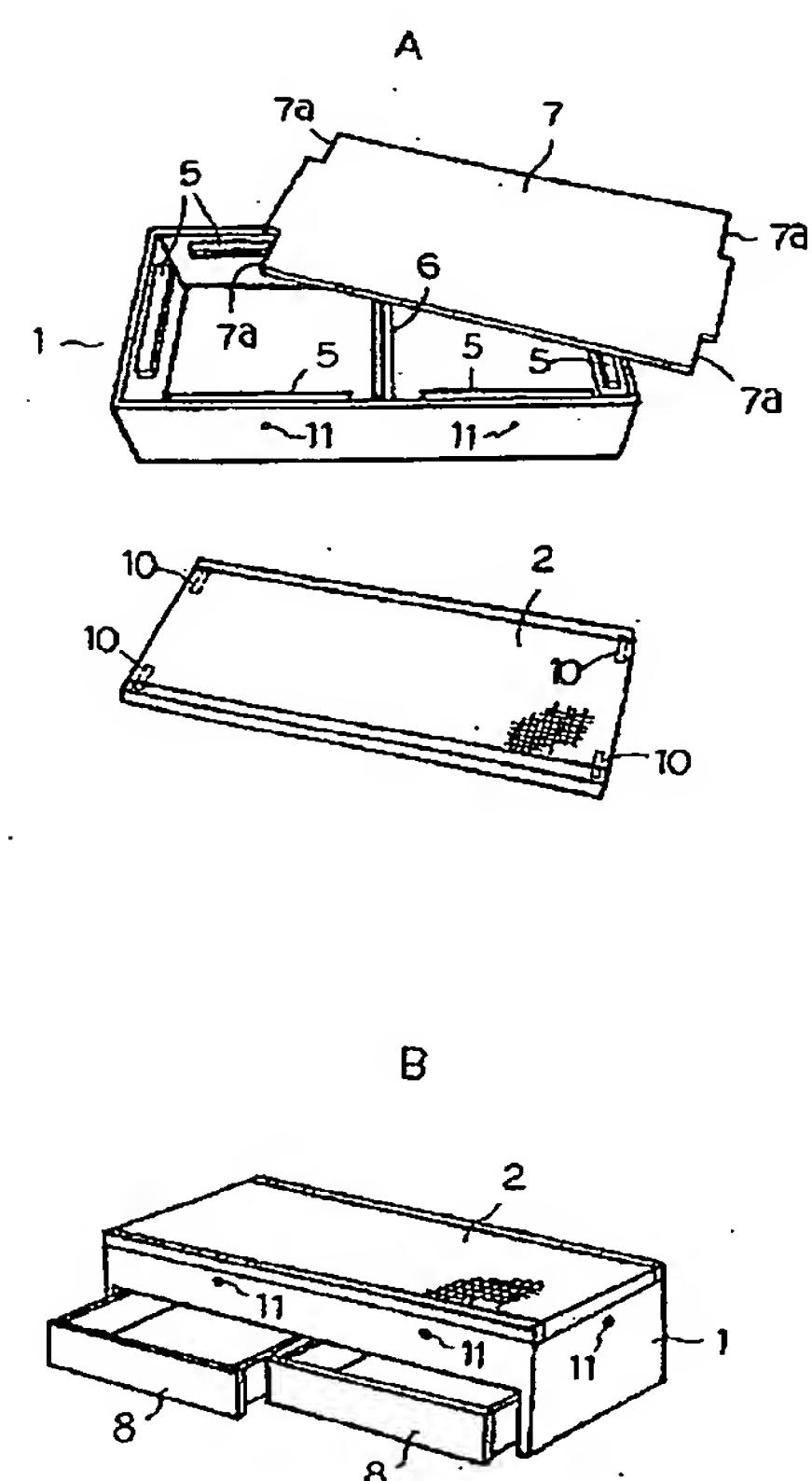
【図5】



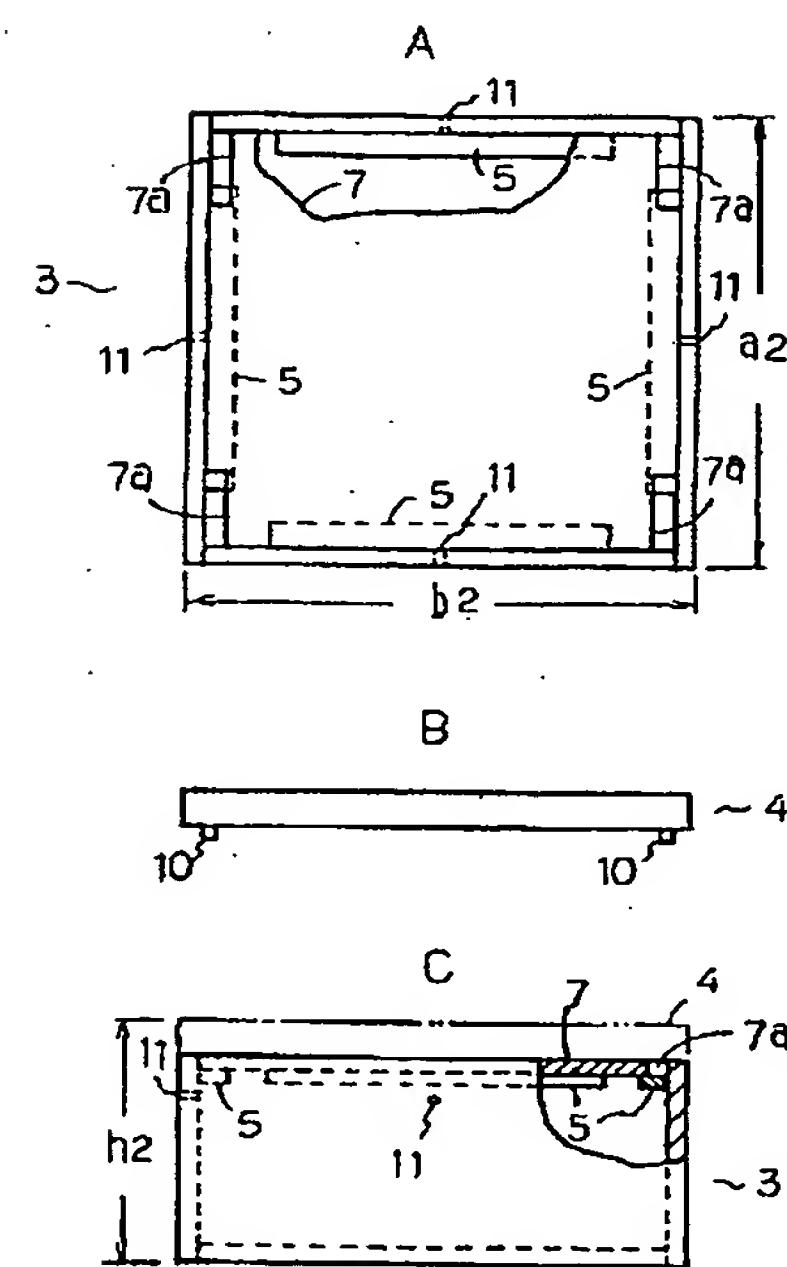
【図1】



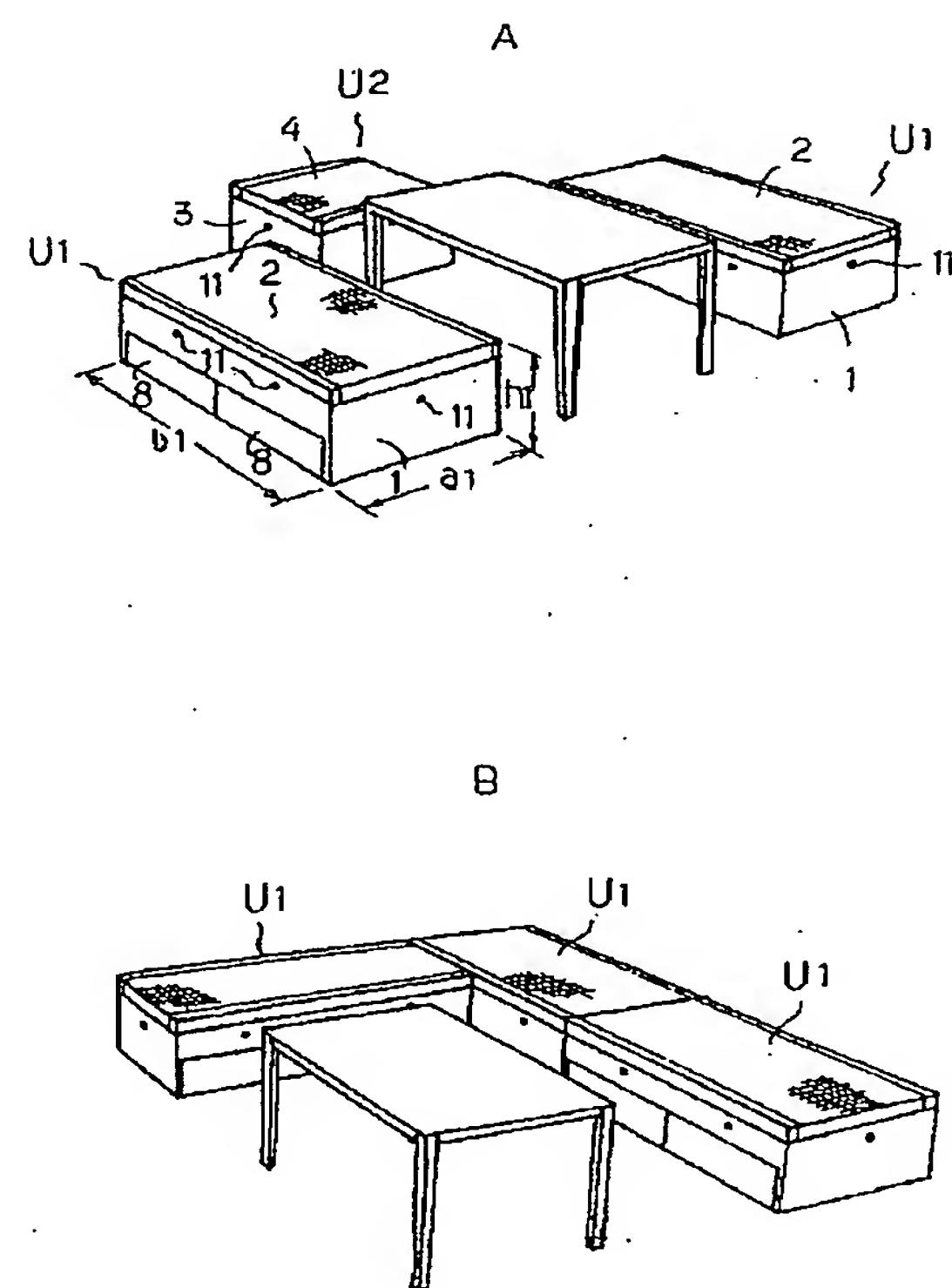
【図2】



【図3】



【図6】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【考案の属する技術分野】**

本考案は、洋間などに適宜配置に組み合わせて使用される台箱付ユニット畳の組合せ品に関する。

【0002】**【従来の技術】**

洋間の中に和風をアレンジするものであって、従来の畳に近似し平面視大きさがそれよりも幾分小さくなされた同一大きさのユニット畳を適當数用意したものとしたユニット畳の組合せ品は存在している。

上記組合せ品は必要なときにのみ、洋間などの床面上の一部に敷き並べ、床面を部分的に畳面となすように使用される。

【0003】**【考案が解決しようとする課題】**

上記したユニット畳の組合せ品では、比較的薄厚の上敷きを敷き並べるに過ぎないため、和風間としての本格的な実感に乏しくその利用形態は極めて限られたものとなるのである。

本考案は、洋間などに本格的な和風間の実感を付与できるものとした台箱付ユニット畳の組合せ品を提供することを目的とする。

【0004】**【課題を解決するための手段】**

上記目的を達成するため、本考案では、大きさが縦凡そ1000～1500mm、横凡そ500～700mm、高さ凡そ250～350mmで、長方形状とした台箱と該台箱の上面開口に台箱の平面視大きさに合致させた畠床付き畳を取り外し可能に係着載置してなる同一大きさの台箱付ユニット畳を複数作成し、各台箱を直列、並列、方形状などに適宜組合せ、接合面をなす各側面間を結合手段で取り付け取り外し可能に止着させた構成となす。

【0005】

上記考案に係る組合せ品をさらに変化性に富んだものとなすには、大きさが縦

凡そ1000～1500mm、横凡そ500～700mm、高さ凡そ250～350mmで、長方形形状となした台箱と該台箱の上面開口に台箱の平面視大きさに合致させた畳床付き畳を取り外し可能に係着載置した長方形台箱付ユニット畳と、上記長方形台箱付ユニット畳の縦寸法をその横寸法と同一となした方形台箱付ユニット畳とを適當数作成し、これらを直列、並列、方形状などに適宜組合せ、接合面をなす各側面間を結合手段で取り付け取り外し可能に止着した構成となす。

【0006】

上記結合手段は適宜に形成してよいものであり、例えば、各台箱の側面の対応個所に設けられた透孔と、該透孔を挿通させたボルト及び締付ナットである例えば各台箱の側面の対応個所に設けられた透孔などであっても差し支えない。

【0007】

また長方形台箱付ユニット畳や方形台箱付ユニット畳は、具体的には次のようになすのであって、即ち、箱体の四周囲の側面の内方に横桟を固定すると共に、箱体内の横桟上に箱体の上面開口を覆うものとした方形状の支持板を載置し、この支持板上に畳床付き畳を載置し且つ、この畳と支持板の横ずれを突起又は当板などの係止手段で係止した構成となす。

上記台箱には引き出しを設けることができる。

【0008】

【考案の実施の形態】

図1～図6は本考案に係り、このさい図1は長方形台箱付ユニット畳を示す図、図2は前記長方形台箱付ユニット畳を示す斜視図、図3は方形台箱付ユニット畳を示す図、図4～図6は使用形態を示す図である。

【0009】

本考案の基本的構成要素をなす長方形台箱付ユニット畳は、図1及び図2に示すように台箱1とユニット畳2とからなっている。

上記台箱1は長方形形状となされ、その全体大きさは縦a1凡そ1000～1500mm、横b1凡そ500～700mm、高さh1凡そ250～350mmとなされている。

【0010】

また他の構成要素である方形台箱付ユニット畳は、図3に示すように基本形のものと同様に台箱3とユニット畳4からなり、その縦a2及び横b2寸法が長方形台箱付ユニット畳の横b1寸法と同一で、高さh2は基本台箱付ユニット畳の高さh1寸法と同一となしてある。

【0011】

上記長方形台箱付ユニット畳及び方形台箱付ユニット畳の台箱1、3は、具体的には次のような構成であって、即ち、木材で箱体を形成し、これの四周囲の側面の内方に横桟5を固定すると共に、横桟5上に箱体の上面開口を覆うものとした方形状の支持板7を載置したものとなす。このさい、長方形台箱付ユニットの台箱1は対向した側面間に中間仕切り6を設ける。

【0012】

上記支持板7は厚さ凡そ15～20mm程度のラワンベニヤで形成し、四隅に適當大きさの切欠7aを設ける。

台箱1、3には必要に応じ図1及び図3Bに示すように引き出し8を設けるのであり、このさい、9は引き出し8の出し入れを案内すると共に棚板として機能する横向き仕切り板である。

【0013】

上記ユニット畳2、4は、日本間に使用される畳と同じ畳床付き畳であって、方形状の台箱1、3の上面開口と合致した寸法となされており、且つこの上面開口を覆った支持板7の真上に取り外し可能に載置されるものである。

【0014】

ユニット畳2、4が支持板7上に載置された状態の下ではユニット畳2、4と支持板7との横ずれを適宜な係止手段で規制しなればならないが、この係止手段は具体的には次のようになしてある。即ち、図1、図2及び図3に示すように、ユニット畳2の裏面に係止突起10を固設し、各係止突起10は支持板7上にユニット畳2、4が載置された状態の下で支持板7の各切欠7aに嵌合されるものとなす。

【0015】

上記した長方形台箱付ユニット畳及び方形台箱付ユニット畳は、必要に応じ、それらの側面が一定相対配置で密着するように適宜な結合手段を介して結合されるのであるが、この結合手段として、本例では各台箱1、3の側面の対応位置にボルト部材mを挿通させるための透孔11を設け、締付ナットnで締め付けるようとする。

【0016】

本考案に係る台箱付ユニット畳の組合せ品は、上記した長方形台箱付ユニット畳及び方形台箱付ユニット畳を適當数用意したものとなすのであり、その使用は例えば、次のように行うのである。

即ち、図4に示すように四つの長方形台箱付ユニット畳U1の側面を密着させ、ユニット畳2及び支持板7を取り外した状態の下で前記密着させた一対の側面の符合された透孔11にボルト部材mを挿通させ、これに締付ナットnを螺合して締結し、その後、支持板7やユニット畳2を台箱1の上面開口に嵌着する。

【0017】

これにより、四つの長方形台箱付ユニット畳U1は畳ベッドとして機能するものとなり、このさい箱体1は収納箱として使用され、引き出し8は衣類などの収納場所として使用される。

【0018】

また図5に示すように、四つの長方形台箱付ユニット畳U1と一つの方形台箱付ユニット畳U2とを密着させて結合する。このようにすると、洋間の床面の一部が椅子高さの畳面として使用できるものとなる。本図でU2を使用しないでテーブルを電気コタツ付きテーブルとすると、腰掛式の電気コタツに早変する。

【0019】

また二つの長方形台箱付ユニット畳U1と一つの方形台箱付ユニット畳U2を図6Aに示すように配置すると、畳応接セットとして機能するものとなり、さらに図6Bに示すように配置すると、畳コーナーチェアとして機能するものとなる。

【0020】

【考案の効果】

上記した本考案によれば、実際の畳床付き畳を使用して洋間を随時必要大きさの和風間にアレンジできるものであり、また畳ベッドや和風用の畳応接セットなどとしての使用も可能となる。

【0021】

本考案で台箱に取り付けた引き出しは台箱内の空間を有効利用して収納スペースを効率的に提供するものである。

CLAIMS

[The scope of a claim for utility model registration]

[Claim 1]A size at about 1000-1500 mm long, the side of about 500-700 mm, and about 250-350 mm in height. Two or more unit tatamis with a stand box of the same size that carries out engagement installation of the tatami with a floor which made a top opening of rectangular form, a made stand box, and this stand box agree in a plane view size of a stand box dismountable are created, A combination article of a unit tatami with a stand box having combined each stand box with series, parallel, rectangular shape, etc. suitably, having attached between each side in which a plane of composition is made, by a coupling means, and making it attach firmly removably.

[Claim 2]A size at about 1000-1500 mm long, the side of about 500-700 mm, and about 250-350 mm in height. A unit tatami with a rectangle stand box which carried out engagement installation of the tatami with a floor which made a top opening of rectangular form, a made stand box, and this stand box agree in a plane view size of a stand box dismountable, A combination article of a unit tatami with a stand box having accomplished a unit tatami with a rectangular stand box which made a vertical size of a unit tatami with the above-mentioned rectangle stand box as it is the same as that of the form width several suitable works, having combined these with series, parallel, rectangular shape, etc. suitably, having attached between each side in which a plane of composition is made, by a coupling means, and attaching firmly removably.

[Claim 3]A combination article of the unit tatami with a stand box according to claim 1 or 2 being a bolt and a nut with a bundle in which a bore by which a coupling means was provided in a correspondence part of the side of each stand box, and this bore were made to insert.

[Claim 4]A unit tatami with a stand box fixes a horizontal frame to an inner direction of the side around [4] a box, and. A combination article of the unit tatami with a stand box according to claim 1, 2, or 3 being the composition of having laid a support plate of rectangular shape which made a top opening of a box a wrap thing on a horizontal frame in a box, and having laid a tatami with a floor on this support plate, and having stopped a strike slip of this tatami and a support plate by a locking means of a projection or a back plate.

[Claim 5]A combination article of the unit tatami with a stand box according to claim 1, 2, 3, or 4 providing a drawer in a stand box.